QUESTION

住友電工の各事業における 注目のテクノロジーを教えてください。

【環境エネルギー】

- 電力線通信（PLC）
- 低損失大容量送電線
- レドックスフロー電池
- 集光型太陽光発電

【情報通信】

- ミリ波MMIC
- 化合物半導体
- 光ファイバ・光ケーブル
- AIを使った全文検索システム

【自動車】

- ミリ波レーダを用いた 歩行者検知システム
- アルミハーネス

【エレクトロニクス】

- 水処理膜モジュール

【産業素材】

- 合成ダイヤモンド

【新規事業】

- マグネシウム合金

住友電気工業株式会社 お問い合わせ先

【大阪本社】 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-5-33（住友ビル）
人事部 人材採用部 採用企画グループ
TEL：06-6220-4134 / E-mail：go@info.sei.co.jp
HP：https://www.sei.co.jp/

【東京本社】 〒107-8468 東京都港区元赤坂1-3-13
人事部 人材採用部 東京人事・採用グループ
TEL：03-6406-2610 / E-mail：go@info.sei.co.jp

住友電工
Connect with Innovation

電気系学生向け インフォメーションガイド

INFORMATION GUIDE

つなぐ、つたえる技術で、よりよい社会の実現に貢献する

自動車　情報通信　エレクトロニクス　環境エネルギー　産業素材　研究開発

ここには電気系学生の専攻を活かせる多様な仕事がある

SUMITOMO ELECTRIC GROUP

電気系先輩社員の声

つなぐ、つたえる技術でよりよい社会の実現に貢献する住友電工は、**一言では言い切れない多彩な事業**を**世界中**で展開しています。だからこそ、**電気系出身社員が活躍できるフィールド**がたくさんあります。そんな各フィールドで活躍する先輩社員たちの学生時代の経験が、どのように仕事に活かされているか興味ありませんか？**13人の電気系出身先輩社員**に、学生時代の**研究内容**とそれが**仕事にどう活かされているか**を聞きました。

❶ 所属部署
❷ 卒業学科・専攻（学歴）
❸ 学生時代の研究テーマ
❹ 仕事内容
❺ 学生時代に学んだことがどう活かされているか

自動車

◆自動車の軽量化に貢献するハーネスのアルミ化も着実に進展

【研究の中身は違っても、電気の基礎知識はフル活用！】

Aさん　❶交通システム事業部 交通機器技術部❷電気電子工学科（学士）❸非対称電極への高圧放電により発生する風（イオン風）の活用研究❹**路車協調システムの規格検討、普及促進、システム設計、プロジェクト管理など**❺**電気の基礎的知識**は電気回路設計を行うなかで活かせている。

Bさん　❶自動車新領域研究開発センター❷電子情報系専攻（修士）❸有機薄膜太陽電池の試作開発❹**車載用高周波基板の開発**❺**様々な評価機器の使用経験**が、新規導入した機器を使いこなす際に活きている。また、メンテナンスの大変さも学んだことで、機器を管理している現場の方々へ感謝の気持ちをもって接することができる。

Cさん　❶オートネットワーク技術研究所❷電子物理工学科（修士）❸片持ち梁カーボンナノチューブの生体分子計測応用❹**車載ECUの電子回路設計、システム設計**❺**システム制御工学、電磁気学、電子回路など大学で学んだ知識**はフルに活かされている。

情報通信

◆光ファイバの伝送損失の世界記録を更新
◆化合物半導体を用いたデバイスは無線基地局の小型化・高効率化に貢献

【電気工学を学んで、現在、営業部長。大学で学んだことは色々な場面で役立つ！】

Dさん　❶光通信研究所❷電気・通信工学専攻（修士）❸超電導応用工学❹**高速データ伝送を実現する光ファイバと光トランシーバが一体となったアクティブ光ケーブルの開発**❺電気設計に関しては**電気回路学**、評価に関してはオシロスコープなどの**測定器の取り扱い**、データシートや仕様書を読むための英語力は学生時代に触れた英語の量などが活きている。

Eさん　❶光部品事業部❷先端工学専攻（修士）❸AlGaN/GaNヘテロ接合トランジスタの表面安定化❹**5G通信用光トランシーバの設計開発**❺半導体物理の知識は、製品に使われているレーザや受光素子の動作を理解するのに役立っている。**PDCAの回し方や実験計画の手法**も実際の業務で活用。

Fさん　❶デバイス営業統括部❷電気及通信工学専攻（修士）❸地熱開発のための地下亀裂計測の研究❹**営業部長**❺大学で学んだ物事の**定量化とデータ分析**は、色々な場面で役立っている。

コーポレート

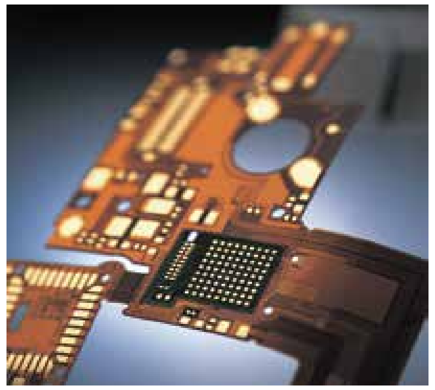
◆全社横断的にものづくりの技術・ノウハウを体系化する生産技術部

【ものづくりにも電気の知識は土台として役に立つ！】

Gさん　❶生産技術部❷電気・電子工学専攻（修士）❸燃料電池設置型集合住宅における最適な運用計画決定手法❹**生産設備の電気設計、制御盤設計、タッチパネルのソフト設計など、強電系から弱電系まで行っている**❺**電気の知識**や**ソフトの知識**などは土台として役立っている。

エレクトロニクス

◆スマートフォンの中で大活躍するフレキシブルプリント回路（FPC）



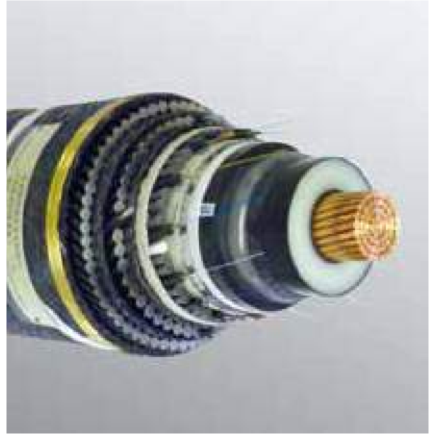
【広い視野、論理的思考が業務に活きる！】

Hさん　❶住友電工電子ワイヤー 設備部❷先端工学基礎学科（学士）❸CO_2レーザを用いたシリカガラスの局所熱処理❹**設備の購入および機械設計業務**❺機械、電気、材料の分野に対し、**垣根なく広く基礎を学んだ**。設備導入も幅広い知識、アプローチ、考え方が要求されるので、広い視野で取り組むことに役立っている。

Iさん　❶住友電工プリントサーキット 品質保証部❷先端物質科学研究科（修士）❸低誘電率ポーラスダイヤモンド膜の配線形成への応用❹**フレキシブルプリント基板の品質管理とお客様対応**❺**論理的に考えること**が活かされている。

環境エネルギー

◆総合電力ケーブルメーカーとしての事業基盤や技術力を海外へ。世界のエネルギーシステム構築に貢献



【研究活動の報告・連絡・相談、自走力は仕事でも同じ！】

Jさん　❶電力事業部 電力技術部❷電気工学専攻（修士）❸超電導線材を用いた配電系統用限流器の基礎検討❹**電力ケーブルの設計や新製品開発、プロジェクト管理や受注活動**❺電力ケーブルの設計では**電磁気学や電気回路の内容**が役立っている。**研究内容の計画立案、進捗、教授への報告、軌道修正、学会発表**という流れは、日々の業務に活きている。

Kさん　❶パワーシステム研究開発センター❷情報知能工学専攻（修士）❸携帯電話基地局向け増幅器の高効率化❹**電力線通信PLC技術の研究開発**❺学生時代はゼロからすべて**自らの力で行う力**を培った。回路研究のための机上計算法、解析のためのコーディング技術、データ解析に関するノウハウ、実機検証のための製作技術など。これらにより、現在複数抱えている案件をハードウェア・ソフトウェア・営業技術として円滑にこなすことができている。

産業素材

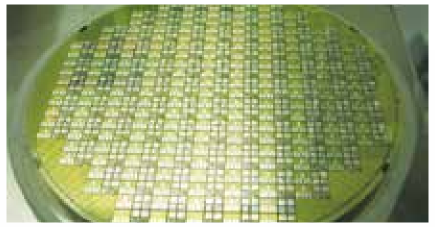
◆超硬工具ではトップブランド　◆超大型建造物を鋼材で支えています

【物性に関する知識を活用！】

Lさん　❶住友電工ハードメタル 超高圧プロセス開発部❷電気電子情報工学専攻（修士）❸スピントロニクスへの応用に向けた半導体へのスピン注入技術の開発❹**ダイヤモンド・CBN工具の素材を製造する超高圧プロセス技術の開発**❺材料を扱うという点では同じ部分もあるため、**物性に関する知識**は活かせている。

新規事業

◆次世代のパワー素子として期待されるSiCデバイスの開発と事業化を推進



【学生時代の知識をそのまま活かせる！】

Mさん　❶パワーデバイス開発部❷電子工学専攻（修士）❸SiCバイポーラパワーデバイスの基礎研究❹**トランジスタの設計および信頼性評価**❺学生時代の知識を**そのまま活用**することができている。

研究開発、電気電子設計、機械設計、
生産技術、製品開発、システム設計など職種も多彩。
世界40カ国395拠点に展開、
つなぐ、つたえる技術は世界の人々の暮らしを支えています。

「ものづくりで身近な人々の生活を支えたい」という夢を叶え続けるために。

自動車事業部門

住友電工システムソリューション㈱
開発センター システム開発部

三宅 一正 KAZUMASA MIYAKE

INTERVIEW 01

入社年：2011年
専攻　：基礎工学研究科 システム創成専攻

ものづくりで人々の役に立ちたい

昔からぼんやりと、将来は身近なものづくりに携わりたいと思っていました。そのものづくりに必要な電気は、日常生活にも欠かせない存在。電気について学んでおけば、世の中を動かす原動力として各種分野で役立てることができると思い、電気系の学部に進みました。大学院では、電気系とシステム系の学部が融合したシステム創成という学部で、高周波の高速無線通信について研究。爆発的に速度が上がると予測されていた通信速度に対して、周波数を上げてアプローチした際の課題と対策について検討しました。当時ターゲットにしていた物事が現在、世の中に出始めてきているので、社会とリンクしていたということを改めて感じています。

穏やかなのに芯のある社員に惹かれて

私が所属していた電気系の研究室は、化学系に比べると拘束時間が短いので、時間的な融通は利きやすかったです。バイトやサークルもメリハリを付けてできましたし、就職活動も効率的に行えました。たとえば、午前中は会社説明会に参加して午後は研究などと、自分でスケジュールを決めて活動していましたね。もともと、身近な人々の役に立つ仕事がしたかったので、ものづくりに関わるメーカーと、日々の生活に不可欠な電気やガスなどのインフラ業界を中心に企業を探しました。合同説明会で出会ったのが住友電工。その後、少人数の懇親会でリクルーターと話をした際、好きな仕事に携わりながら活き活きと働いている印象を受けました。さらに、出会う社員のみなさんが穏やかなのにしっかり自分を持って仕事に打ち込んでいると感じて、私もこういう場所で活躍したいと強く思ったのです。

これまでの経験を糧に、更なるチャレンジ

入社してから現在まで、車両感知器を中心に業務に関わってきました。車両感知器は、超音波や画像を利用したものなどいくつかありますが、たとえば超音波感知器は、超音波が跳ね返ってくるまでの時間を計測し、道路を通る車の量をデータとして取得する装置です。そこで得た情報を集計場所に送り、信号の切り替えタイミングを制御することで、少しでもスムーズに車が流れるように支援しています。入社間もない頃は、安全運転支援のための情報（死角に存在する車両や歩行者情報など）を車両へ提供する、道路に設置された無線装置の開発に携わっていましたが、その後様々な分野の感知器の開発に携わりました。海外の設計チームに加わったこともあります。その後、自動車事業へと所属部署が変わり、自動車の自動運転に関わる通信基板の設計に携わることに。これまでに培った経験を基にしつつ、更に勉強しながら仕事をする必要があるので苦労も大きいですが、自動運転を行う際に不可欠なコアな基板なので、日々やりがいを感じながら働けています。

社会を支えているという実感

カンボジアに車両感知器を設置しに行ったときは衝撃を受けました。日本とこんなにも環境や文化が違うのかと。日本だと一台ずつ分離して動くので車両感知をしやすいのですが、カンボジアはバイクがとても普及していて、数十台のバイクが塊になって動いています。そのため、どうしても感知したデータの精度が落ちてしまう。その調整をするためのカスタマイズに苦戦しました。日本でうまくいっているからと、安易に流用設計をするのは良くないと実感しましたし、自分の目で現地の状況を見ることの大切さを再確認できました。一方で、難しかったぶん、完成時の喜びも大きかった。実際にカンボジアの道路に設置された機器を見て、日本だけでなく海外の人々の生活まで支えることができていると嬉しくなりました。小さい頃から思い描いていた「社会の役に立つものづくりがしたい」という夢は、しっかり叶えられていると思います。

担当領域を広げ、総合的に判断できる設計者へ

現在は、私が設計した基板が搭載された車に乗ることを、ひとつの大きな目標として取り組んでいます。今後、世の中が自動運転に切り替わると予想される中で、私が携わる基板は無くてはならないもの。当社が受注し、たくさんの人々の役に立てるように努力していきたいと思っています。自動運転化の実現に必要なことはたくさんあって、通信量も今より格段に増加しますし、車両感知器などの道路に設置する機器も、融合や連携が不可欠になります。それらすべてを総合的に判断するために、自分の担当できる領域を広げていきたい。そういった意識や目標を持ちながら、仕事の仕方を工夫しています。住友電工は、主体性があればどんな人にも任せてくれる社風なので、そういった働き方もしやすい環境。これからも、自分の目で見て、自分で考えながら、世の中を支える製品づくりに携わっていきたいです。

技術の幅を広げて、プロジェクトのマネジメントをしたい。

環境エネルギー事業部門

新エネルギープロジェクト開発室

田中 未来　MIKU TANAKA

INTERVIEW 02

入社年：2016年
専攻　：工学研究科 電気電子工学専攻

実験とは違った面白さ

停電すると街中がパニックになるように、電気は生活に欠かせないもの。あらゆる場所で使用されている電気について学び、選択肢を広げたいという気持ちから、電気系の学部へ進学しました。大学院では、主にシミュレーションを行う研究室を選択。シリコンが主流の半導体のデバイスに、新たな材料としてグラフェンを応用した場合、デバイスの物性がどう変化するかをパソコンの中にプログラムとして入れ込み、シミュレーションをしていました。すべての計算式を考えてプログラミングをするのは、実験とは違う面白さがありましたね。

電力ケーブルに携わりたい！という強い気持ち

大学院でナノメートルといった小さい単位を扱う研究をしていた反動か、もっと大規模なプロジェクトに携わる仕事をしてみたいと思うようになりました。昔から人と関わることも好きでしたし、高校では選手として、大学ではマネージャーとして6年間ずっとフィールドホッケー部で活動していたので、チームで大きなプロジェクトに携わるような仕事にも惹かれていました。そんな軸で就職活動をしていた頃、研究室の先輩から住友電工の電力ケーブルの話を聞いて、これだ！と思ったのです。「世界を繋ぐ電力ケーブル」このプロジェクトでは、たくさんの人やお金が動き、社会に与える影響も大きい。絶対にケーブル事業に携わりたいと思い、そこからは住友電工しか考えられませんでした。更に、結婚や出産をしても働き続けたいという気持ちが強かったので、女性が働きやすい制度が整い、それをしっかりと利用している先輩社員が多かったのも、住友電工を選んだ決め手です。

キャリアに関係なく大きな仕事を任せてもらえる

入社して一番驚いたのは、若い頃から責任の大きな仕事を任せてもらえること。私自身も1年目からすぐに、実案件化すれば何十億ものお金が動くという洋上風力導入促進の国家プロジェクトに参画させていただきました。2年目からは、引き続き国家プロジェクトに携わりながら、国内の連系線案件や、海外での送電線保守プロジェクトに携わり、お客様と直接話すようにもなりました。営業担当だけではクライアントに説明できない技術的な部分も多いので、私たちが技術営業としてしっかり話をすることで説得力が増し、信頼してもらいやすくなります。研究者や技術者は社内にこもりっぱなしのイメージが強いかもしれませんが、そんなことは全くないです。特に私はこもっていられない性格なので、社外の方に会えるのがすごく面白い。海外も含めて出張は多いですが、現地の様子を自分の目で見たり、学会に参加することが良い刺激になっていると思います。

やりたかったことが仕事になっている満足感

日本の電力のために頑張っているたくさんの方々と一緒に仕事ができることは、モチベーションのひとつです。電力会社をはじめ、重電メーカーや別会社の研究者などスペシャリストの方々ばかり。そんな方々との信頼関係が確実に強くなっていると実感できるのも嬉しいですね。最近は海外にもアプローチをかけていて、うまくいけば海を越えた先でも、私が携わった製品で人々の暮らしを支えることができます。そんな未来を想像して、今自分に足りないものを少しでも補えるよう、積極的に勉強をしています。たくさんの人と関わることができる環境、そして、彼らと創っていく大規模な事業。私が入社前に望んでいたことがすべて叶っている日々は、本当に充実していると感じています。

プロジェクトをまるごと考えられる人になる

ひとつの分野に特化しているスペシャリストって、たくさんいらっしゃいますよね。そういった中で、自分がどう活躍するのか、これからの社会に何が求められていくのかを考えた場合、やっぱりプロジェクト全体を見られる人かなと。たとえば電力ケーブル事業でも、変電機器や電力系統などのすべてを包括して考えることができれば、パッケージ化して販売することができます。これから新しい事業を考える上で、他の分野の知識も含めてビジネスをすることは欠かせない要素。数年後には、そういったプロジェクト全体をマネジメントできる「プロマネ」になるという目標を立てているので、そのために様々なスペシャリストと仕事をさせていただいて、しっかりと知識を吸収したいですね。

布設船に積み込まれた海底ケーブル

挑戦を受け入れてくれる環境で、よりよい製品を世の中に届けていきたい。

情報通信事業部門

伝送デバイス研究所
高集積プロセス研究部

田中 肇　HAJIME TANAKA

入社年：2016年
専攻　：工学系研究科 電気系工学専攻

インタビュー動画はこちら

INTERVIEW 03

進歩し続ける電気の分野をとことん学んでみたかった

小さい頃から、飛行機の形状や身近な電化製品の仕組みを知りたくて仕方ない性格でした。コンピューターを触ったり、ゲーム機の分解をするのも大好きで、機械全般に興味がありましたが、急速に技術が発達している電気の分野は特に気になっていました。そこで、高校卒業後は電気について学べる学部に進み、大学院ではドレスト光子という分野の研究室を選択。ドレスト光子の研究とは、微細な構造に当たった光を物理現象によって留めることで、通常は光らないシリコンなどの物質を発光させるといったものです。まだまだ学会レベルの新しい分野ですが、将来的にレーザーやLEDに応用できる可能性もあるので、ワクワクしながら研究していましたね。

好きな分野を仕事に

博士課程卒の就職活動は、勉強してきた専門分野が仕事内容とマッチングするかが重要。そこで私は、研究で培ったことを活かすために「半導体、シリコン、光」の3つに絞って企業を探しました。その際に注目したのは企業規模や研究投資額などの客観的なデータ。その点で印象的だったのが住友電工でした。説明会の後にリクルーターとの面談を設けていただき、会社の考え方や社員の雰囲気についてじっくりと話を聞きました。数社のリクルーターと面談をしましたが、住友電工の先輩からは特に明るい印象を受けましたし、若手にチャレンジさせてくれる社風と聞いて、指示されたことをこなすだけでなく、主体的に研究できる環境で働きたかった私は心惹かれました。リクルーター自身からも嘘がなくて正直な印象を受け、こんな先輩がいる会社なら信頼できると思ったので入社を決めたのです。

若手にもチャレンジさせてくれる環境

現在は、通信用の変調器を構成するパーツの設計をしています。入社してから3年間ずっと同じ部署で働いていますが、最初はやはりわからない点がたくさんありました。そこを上司が長い目で見てくれて、すぐ目の前の業務をするチームに組み入れず、基礎的な領域に立ち返って自由に研究させてくれる時間を与えてくれたのです。その後、そのときに見つけたおかしな挙動についての対策案を検証して、取り入れてもらえました。実績も信頼もない頃でしたが、意見を受け入れてくれたことが自信となり、そこからどんどん発言できるように。本当に上司に恵まれたと思っています。懐が深く、気になるならとりあえずやってみろ、とやらせてくれて。研究って、実際にやってみないと分からないことが多いですよね。事前に予想していてもうまくいかなかったり、逆にどうして成功したのか分からなかったり。後から理由を探すと納得できるけど、最初からは思いつかないことも多い。だから、何でも挑戦させてくれる上司や会社の雰囲気には感謝しています。

思い描いたものが形になる喜び

この仕事をしていて面白いと感じるのは、やっぱり自分が頭の中で描いたものが形になること。初期のプランづくりから始まって、作図して加工を経て、最後は実際の製品になる。ものづくりが好きな人なら、たまらないと思います。精度を上げるために何度もシミュレーションを繰り返し、電気と光のどちらの性能も満たせるような条件を探っていく過程も楽しい。難しいですが、だんだんとシミュレーション上での性能が上がるのが目に見えます。今関わっているプロジェクトでも、最初の試作ができたときは本当に嬉しかった。自分が携わった製品でどんな性能が出るんだろうと、ワクワクしました。私が設計した製品は、まだ研究開発の段階なので実際に製品化されていませんが、今後市場に出回るようになったときの喜びは、計り知れないと思います。

通信用光デバイス

分野を越えた知識で、視野の広い研究者を目指す

私は現在設計を任せてもらっていますが、設計と言ってもまだパーツの一つひとつに関わっている段階。それを近いうちに、光と電気の特性を踏まえ、製品全体を設計できるようになりたいと思っています。全体を知ると先ほどのようなシミュレーションの精度も上がり、やりがいも増すはず。その段階をマスターできたら、設計だけでなく半導体の基板から実際の製品にするまでの加工についても詳しく学びたいと思っています。幅広く習得できれば、視野が大きく広がると思うので。せっかく様々な分野に携われる住友電工に勤めているので、これからもどんどん専門性を広げ、人々の生活を支える製品を生み出していきたいです。

住友電工における

電気系出身社員の働き方 Q&A

ここでは、電気系学生が住友電工での働き方を考える際に
ポイントになる質問への回答をまとめました。

Q 電気系学部出身学生が従事する職種は？

A 研究開発　製品開発　製品設計　設備開発　生産技術　品質保証　が主なものです。

経験を積んでいただいた後、技術営業　知財　などに従事することもあります。

Q 電気系学部出身学生が歩む基本的なキャリアステップは？

A 仕事の幅を広げながらステップアップしていくのが基本です。数年ごとに異動やローテーションがあり、例えば研究開発→製品開発→生産技術→海外拠点駐在→国内マネージャーというように、自身の業務の幅を広げてキャリアアップをしていきます。

Q 今後、戦略的に注力していく分野は？

A 中期経営計画22VISIONでは、各事業分野の多様な技術や製品群を活かすことで新しい価値を創造し、「モビリティ」「エネルギー」「コミュニケーション」の3事業領域と、更にはそれらが重なり新しい社会ニーズが生まれる領域を中心に、よりよい社会の実現に貢献していくことを目指します。

詳しくはこちら

Q 研究や開発に関して、住友電工が大事にしている姿勢や考え方は？

A 社会の変化に迅速、的確に対応し、顧客の要望に応えます。また、技術を創造し、変革を生み出し、絶えざる成長に努めます。各組織のDNAを尊重し、行き過ぎた「選択と集中」より「多様化」が大切だと考えています。

Q 住友電工の強みは何ですか？

A
- ■独自技術を基盤とした多様な事業分野
- ■独自の新製品・新技術を生み出す技術力
- ■住友事業精神を理解し、主体的に行動できる人材。

詳しくはこちら

Q 海外拠点で働くケースはありますか？

A はい。あります。
- ■入社後は日本国内に配属になりますが、数年後、一通り仕事を覚えた後に海外拠点のスタッフとして、海外に駐在することもあります。
- ■トレーニー派遣として、入社1,2年目でも海外工場で3か月程度実習することもあります。
- ■海外出張の機会も多く、事業部門では海外拠点の技術支援や顧客対応、研究部門では国際学会での発表などで海外出張のチャンスがあります。早ければ入社2年目から海外出張を経験します。

Q 国内で働く可能性のある研究部門や事業部門の場所について教えてください。

A **主な事業・研究部門と拠点**

国内の主な事業・研究部門は以下です。これ以外の事業・研究部門、拠点もあります。

事業分野	事業・研究部門	主な拠点
自動車	交通管制システム・安全運転支援システム事業	東京・大阪
	次世代自動車のコネクテッド技術・EV技術開発	大阪・名古屋・横浜
	車載ハーネスネットワーク開発	三重
情報通信	光ファイバ・光ケーブル事業	横浜
	光ファイバ融着接続機・機器事業	横浜
	電子デバイス・光デバイス・光トランシーバ事業	横浜・山梨
	ブロードバンドネットワークシステム・機器事業	東京・大阪
	光ファイバ関連技術研究	横浜
	光デバイス・電子デバイス研究	横浜・伊丹
	光通信・無線通信・先進運転支援システム研究	大阪・横浜
エレクトロニクス	フレキシブルプリント回路事業	滋賀
	電子機器・自動車用配線材事業	栃木
	水処理膜モジュール製品事業	大阪
	金属無機材料・高分子材料・微細回路形成技術研究	大阪
環境エネルギー	電力ケーブル事業、海外電力プロジェクト事業	東京・大阪・茨城
	銅荒引線事業	大阪
	マグネットワイヤー事業	滋賀
	電力インフラ分野 新製品・新技術開発・研究	大阪
産業素材	切削工具・レーザー用光学部品事業	伊丹
	ばね用鋼材・スチールコード・PC鋼材事業	伊丹
	焼結機械部品事業	伊丹・岡山
	放熱基板材料・ダイヤモンド工具・超硬合金事業	兵庫・富山・山形
	金属材料・無機材料の新材料創生・プロセス革新研究	伊丹
コーポレート	全社横断的な生産設備・生産技術開発	大阪・伊丹・横浜
	情報処理システム開発・ソフト開発・コンピュータ運用業務	東京・大阪
	分析・解析技術とCAEによる開発支援	大阪・伊丹・横浜
	製造現場を支えるIoT技術の開発・製品化	大阪・横浜
	パワーデバイスSiC開発	大阪・茨城

上記以外の事業・研究部門、拠点もあります。

Q 配属や異動について教えて下さい。

A 入社後、新入社員研修時に部門ガイダンス、配属希望調査、配属面談を行い、配属先が決まります。異動の頻度は人により異なりますが、キャリアアップを目的に平均的には4～5年で担当業務の変更やローテーションするケースが多いです。

Q 福利厚生について教えてください。

A 全国各地に会社保有の寮・社宅、もしくは借上げの物件があります。休日は年間120日以上です。時間単位有休制度やリフレッシュ休暇制度もあり、平均有休取得日数は16日です。また、大阪、伊丹、横浜、東京には社内託児所もあります。

詳しくはこちら